

学 習 指 導 案

日時	令和3年7月19日(月) 第1限	指導クラス	電子機械科 1年 (39名)	指導者	
教科(科目)	工業(機械工作)	単元名	第4章 溶接		
教科書	機械工作1 実教出版	副教材	プリント、タブレット		
本時の主題	様々な溶接について考察した結果をクラスメイトに伝わるように発表する 本時(9時間目/全9時間)				
本時の目標	溶接についてクラスメイトに伝わるように発表する				
学習活動に即した評価規準	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		溶接の特徴から、溶接を適切に活用する方法について考察し、表現している。		協働学習に主体的に関わり、主体的に課題を解決しようとしている。	
時間	ねらい	学 習 活 動		評価規準	評価方法
5分 【導入】	本時の目標を具体的に説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標と発表のルールを説明する。 1. 時間は1グループ3分 2. 必ず全員が発表に参加する。 3. 発表後他のグループから評価を受ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・評価はFormsを利用する。 ・相互評価の項目は資料の見やすさ、声の聞きやすさ、理解できたかどうかの3観点と説明する。 <p>○発表の準備をする。</p>			
35分 【展開】	人に伝える力をつける。 話を聞く力をつける。 他のグループを評価することで自分の発表の仕方について考えさせる。	<p>○事前にまとめた資料を用いてグループ発表をする。</p> <p>○他のグループの発表に対して、評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価後次のグループに準備を促す。 		思・判・表、態	学習活動観察
10分 【まとめ】	人に伝わる発表の仕方を学ばせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループの発表後、それぞれの評価を表示し、印象に残った点、良かった点、改善点について話をする。 <p>○発表の評価を受け、改善点を考察し、グループで話し合う。</p>		思・判・表、態	学習活動観察